

あとがき

私ごとですが、昨年、還暦を機に受けた人間ドックで腹部にパラガングリオーマ（傍神経節腫）がみつかり、年末に摘出手術を受けました。お陰様で術後経過は順調で、年始より従来通り働いています。術前に血液検体を用いた遺伝子検査ではSDHBの遺伝子異常は認められず、病理標本の免疫組織染色でもコハク酸脱水素酵素（SDHB）は正常に発現しており、再発や転移の可能性は低いようです。ご存知の通り、傍神経節腫は頸動脈小体にも発生します。悪性度の予測や遺伝相談のため、患者さんには多施設共同研究としてSDHB遺伝子検査をお勧めしてきましたが、まさか自分が検査を受けるとは思ってもみませんでした。

残念ながらSDHB遺伝子検査はいまだ保険適用となっていないませんが、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の様々な疾患で免疫染色や遺伝子検査・分子病理診断が、鑑別診断や治療効果・予後予測に実臨床レベルで欠かすことができないものとなりました。ということで、今月号は「基本から学ぶ病理組織の見方」と題して、最新の病理組織の見方・病理組織報告書の読み方を基礎から学んでいただくように企画しました。総論では、著書『スパルタ病理塾』で有名な小島伊織先生（大同病院病理診断科）にHE染色標本が読める楽しさを、続いて診断病理総合データベース『いむーの』を運営する伊藤智雄先生（神戸大学病理診断科）には様々な特殊染色/免疫染色について、唾液腺癌の大規模多施設共同研究を推進している稲垣宏先生（名古屋市立大学臨床病態病理学）には分子病理診断についての解説をお願いし、各論では各領域のエキスパートの先生に代表的な病理組織の見方をご執筆いただいています。さらに、本号では山梨大学名誉教授 増山敬祐先生のアレルギー性鼻炎の総説も掲載しており、大変充実した内容となっております。皆様、ぜひご通読ください。

（丹生健一）

【編集顧問】

坂井 真
八木 聡明
竹中 洋
吉原 俊雄

【編集委員】

小川 郁
丹生 健一
鴻 信義

本誌は1928年に久保猪之吉によって「耳鼻咽喉科」として創刊され、1988年に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改題いたしました。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第93巻 第3号）
2021年3月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：2,970円（本体2,700円＋税10%）

2021年年間購読料（増刊号を含む13冊，送料込）
冊子版/通常 43,626円（税込）
冊子版/個人特別割引 40,128円（税込）
電子版/個人特別割引 40,128円（税込）
冊子＋電子版/個人特別割引 45,628円（税込）

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」ホームページ

<https://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/>

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710

（担当 鶴淵・安部）

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

・本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」は株式会社医学書院の登録商標です。